

台風 7 号と 8 号が来ました。台風は秋に来るものと思っていましたが。またヨーロッパは熱波のようです。やはり気候変動でしょう。

／／／／ I N D E X ／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／

- ・ ISO 関連解説----- TC207/SC5/TG4 (ISO14040 と 14044 を改訂しますか?)
- ・ LCA の実務 mini ---お休みです。
- ・ LCAF からお知らせ---LCAF オンライン実務者研修を 8 月 6 日に実施します
- ・ 編集後記-----下駄

■■■ ISO 関連解説 : TC207/SC5/TG4 (ISO14040 と 14044 を改訂しますか?) ■■■

ISO14040:2006 と ISO14044:2006 を改訂するかどうかを議論する TC207/SC5/TG4 が始まりました。昨年 10 月の SC5 トロント総会で設立することが決まったタスクグループ (TG) です。この TG が 12 月の SC5 総会に結果を報告し、SC5 で改訂するかどうかを決定する手続きになっています。

ISO 規格の改訂は、それを担当する SC で決めれば良いことになっているのですが、この両規格は改訂に反対する人が多いこともあり、TG を立てて議論するという慎重な手順を踏むことになりました。

私も改訂には反対しています。ISO14040 と ISO14044 は LCA の基本である「親」規格で、これを使って ISO14077:2018 (製品のカーボンフットプリント (CFP)) や ISO14064-1:2018 (組織のカーボンフットプリント (CFP)) などの「子」規格が発行されています。親規格を改訂すると、子規格すべてに影響するので、親が許す範囲で子規格で詳細なことを「決めれば」良いとは思いますが、最近の動向を考慮して親規格を改訂したいという意見があります。

6 月 8 日 (月) と 10 日 (水) 日本時間 20:00-21:30 にオンラインで TG4 が行われました。思ったより参加者が少なく、7~9 名でした。議長は、ISO22095-2:2026 (マスバランスモデル) と ISO22095-3:2026 (ブック&クレーム) の議長を務めたフランスの Philippe Osset です。コンセクエンシャル LCA の提唱者であるデンマークの Bo Weidama がいます。この二人は、新しいことを入れたい改訂派です。SC5 の議長のドイツの Christian Krueger は中立のはずですが、私が見る限り改訂派に近いです。この人たちは、ISO14040 と ISO14044 を発行するときに私が共同議長を務めたことを知っていて、私が改訂反対派であると思っています。他の人たちは、声の大きいこの 3 人の話を聞くという立場です。会議の途中で、改訂に賛成か反対かの投票をしたのですが、改訂派が 80%でした。

ISO の規格は、5 年ごとに参加国に「維持」「廃止」「改訂」の意見を聞くシステムテック・レビュー (SR) が行われます。来年 4 月が ISO14040 と ISO14044 の SC の時期ですが、今年 12 月の SC5 総会で「改訂」を決めると、4 月の SC を行わない可能性があります。SR は、SC5 総会に参加できない国の意見を聞く良い機会なので、実施することが必要だと私は主張しています。さて、この TG4 が SC5 に改訂を進言するかどうか、もう少し様子見です。

■■■ LCA の実務 mini : 今回はお休みです ■■■

■■■ LCAF からのお知らせ : ■■■

○LCAF オンライン実務者研修を 8 月 6 日 (木) と 9 月 14 日 (月) に実施します

LCAF では、「LCAF オンライン初級研修」及び「LCAF オンライン中級研修」に加え、さらに実際の、直近の LCA に関する知識を求める方々を対象に、「LCAF オンライン実務者研修」を実施しています。

実務者研修は 5 回シリーズで計画しており、昨年度まで 3 回を終了しました。この度、シリーズの最後として第 4 回と第 5 回を以下のように実施します。全 5 回を終了した方には、「実務者研修修了証」をお送りします。

また、実務者研修の集大成として、この秋 (10 月または 11 月) に「実務者検定試験 (東京での会場開催)」を行います。受験には実務者研修を受講していることは必須ではありませんが、検定問題には全 5 の実務者研修の内容が含まれます。

- ・【LCAF オンライン実務者④】 CFP/LCA の実施 : 具体例による解説

2026年8月6日（木）13:00～17:00（4時間）

LCAF が受託した LCA/CFP の技術指導及びクリティカルレビューから、実務者が迷う具体的な問題を取り上げ、その算定方法（LCAF の指導方法）を解説します。

・【LCAF オンライン実務者⑤】影響評価と ISO の動向

2026年9月14日（月）13:00～17:00（4時間）

現在は世界的に CFP の算定が注目されていますが、自然資本の評価やネイチャーポジティブなど気候変動以外の環境領域の評価も始まっています。この第 5 回では、最近実施例が増えている「水消費」の評価方法を解説します。また、「廃棄物の埋め立て」とその基礎となっている「生物多様性」の LIME での評価方法を解説します。最後に、現在改訂と開発が進行している ISO の動向を解説し、LCA/CFP に関する世界の動きを理解します。

○[再掲です] 国や地方自治体の LCA/CFP 算定支援事業のお手伝いをします。

- ・例えば以下のように、国土交通省は建材等の CFP 算定を支援しています。
LCAF ではこのような支援事業に、応募の準備から採択後の算定のお手伝いをします。
- ・国土交通省支援事業：CO2 原単位等の策定に係る支援>
<<https://www.kkj.or.jp/gx-dx/index.html>>
- ・まずは、30 分の無料の初期相談で支援を受けたい内容をご相談ください。
<https://lcaf.or.jp/technical_advisory/>

○[再掲です] 参考図書「基礎から学ぶ LCA～LCA の実施と活用～」の第 4 刷を発行しました。

特に「第 12 章：LCA と国際標準規格」に最近の ISO の発行状況を反映しました。

以下からお申込みください。（3,000 円＋税＋送料）です。

<https://lcaf.or.jp/education/textbook/>

■■■ 編 集 後 記： ■■■

自宅を整理していたら古い下駄を見つけました。私が小学生の頃はすでに運動靴（ブック靴）で登校していましたが、帰宅して家の庭に出るときには下駄でした。靴よりも断然履くのが簡単なのが良いですね。今でもベランダはサンダルですが、その感覚です。

下駄の難点は足がすぐに汚れることです。昔は舗装道路がほとんどないので、外に出るとすぐに足が汚れるので、家の土間の「上がりかまち（この言葉も死語のようです）」には必ず雑巾が置いてありました。足を拭いてから上がらないと叱られたものです。

そういえば家の構造も大きく変わりました。家の中の土間と座敷の高低差は今の椅子の高さ以上あったように思います。どこの家にも床下と縁の下がありました。我が家の床下の奥には白い大きな蛇がいて、ネズミを食べていると聞きました。本当でしょうか。縁の下は犬の寝床になっていて、「敦はよちよち歩きのころに、縁の下で犬のご飯を食べていた」と大きくなっても笑われました。

昔は、犬も猫も残りご飯に味噌汁をかけたのが餌でしたから、私が犬のご飯を横取りしたのかもしれませんが。にわとりには菜っ葉をきざんで米ぬかを混ぜて、味噌汁のアサリやシジミの殻を細かく砕いて与えました。うさぎを飼っていた頃は、放課後に川辺に柔らかい草を刈りに行くのが日課でした。豚には台所の残飯を与えました。冬はさつまいもを大鍋で蒸かして与えます。その中の上等な部分が子供のおやつでした。豚は大きくなると肉屋が引き取りに来ました。もともと肉屋から預かった豚ですからね。豚小屋の敷き藁は畑の肥料にしたように思います。究極のエコ農業ですね。

さて話を下駄に戻します。下駄の最も有効な使い方は海水浴です。足ではなくて手につけて泳ぎます。手が浮くので疲れませんし、大きく水をかくことができます。

そういえば学校には下駄箱がありましたね。下駄をはいて通う生徒はいないのに、なぜか「下駄箱」でした。筆をいれることはないのに「筆箱」でしたね。今でも「下駄箱」というのでしょうか？ 筆箱はペンケースと言うように思いますが。。。どうでしょう。。。。

（LCAF 理事長 稲葉 敦）

ご意見、ご感想、この「LCAF 通信」の配信停止のご連絡はこちらまで

lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで（読んで）ください)

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-10-2 渡辺ビル 5F

電子メール : a.inaba@lcaf.or.jp

電話 : 090-1423-0863

URL: <http://lcaf.or.jp/>